

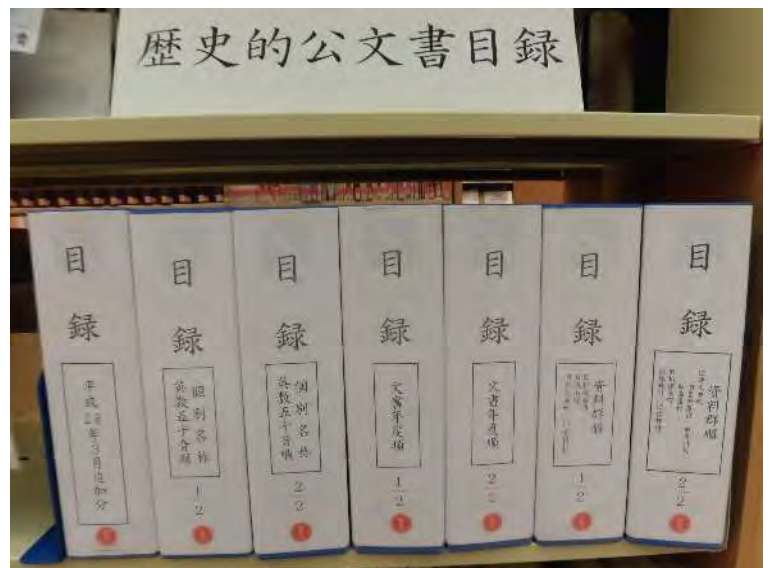


相模原市立 公文書館だより

第5号 平成29年5月

歴史的公文書目録の紹介

市立公文書館閲覧室で歴史的公文書目録を配架しています。歴史的公文書目録は、公文書の適正な管理を行うため、公文書管理条例に基づき作成しています。目録の種類は、文書検索を容易にするため、資料群順（旧市・旧町・旧村別） 文書年度順、個別名称英数50音順の3種類を用意しています。目録数は、平成29年4月30日現在で、21,483件となっており、内訳は、旧相模原市（旧相模原町・旧上溝町外6村含む）が3,282件、旧城山町（旧川尻村外1村含む）が1,749件、旧津久井町（旧串川村外6村含む）が1,763件、旧相模湖町（与瀬町・内郷村外1町1村含む）が912件、旧藤野町（旧牧野村含む）が1,777件となっています。公文書館にお立ち寄りの際は、是非ご覧になってください。また、インターネットでもご覧いただけます。

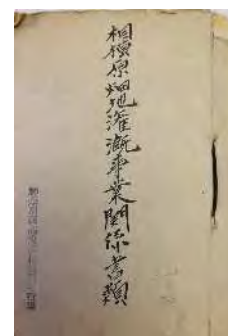


公文書館整理作業室で歴史的公文書の目録を作成するための準備作業を行っています。文書作成課から情報公開課へ引き継がれた文書目録と文書原本との照合を行い、歴史的公文書の適正な管理と保存に努めています。また、歴史的公文書利用請求の際に、請求された文書の検索を容易にするため、歴史的公文書細目録の作成などの作業も行っていきます。

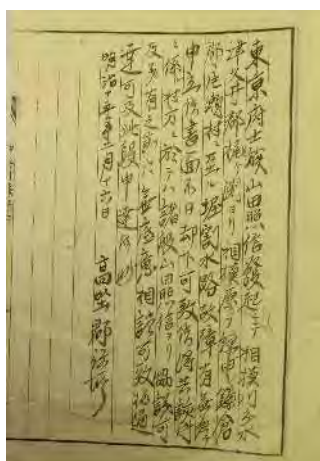
第7回企画展「水なき台地と呼ばれた相模原台地の変貌」

平成28年9月23日から12月17日まで「水なき台地と呼ばれた相模原台地の変貌」の展示を行い、期間中312人の来館者がありました。

相模原畑地灌漑事業関係書類（昭和23年～26年）や東京山田照信出願相模川開墾水路掘割の件（明治13年～15年）の公文書をはじめ、保存行政資料など約46点の資料を展示し、ご覧いただきました。



< 相模原畑地灌漑事業関係書類 >



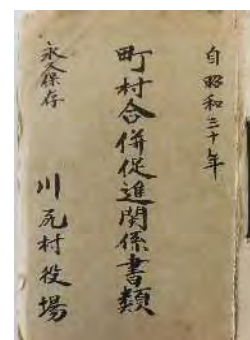
< 東京山田照信出願相模川開墾水路掘割の件 >

主な展示文書

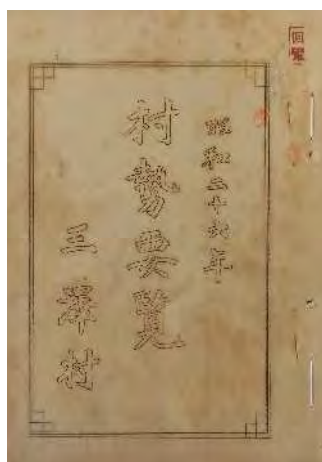
- 東京山田照信出願相模川開墾水路掘割の件（明治13年～15年）
- 榎本武揚氏外数名開田趣意書（明治16年）
- 横浜水道（相模川からの導水）（明治17年）
- 横浜水道事業を横浜市へ引継ぎ（明治23年）
- 神奈川県高座郡相模原開田計画（昭和12年～15年）
- 相模原畑地灌漑事業関係書類（昭和23年～26年）
- 大規模県営相模原開発畑地灌漑事業（昭和30年）
- 畑地かんがい早わかり 相模原町（昭和27年～28年）

第8回企画展「津久井郡の昭和の合併」

平成29年1月17日から3月31日まで「津久井郡の昭和の合併」の展示を行いました。期間中337人の来館者があり、町村合併促進関係書類（昭和30年）の公文書をはじめ、保存行政資料など、約50点の資料をご覧いただきました。



< 町村合併促進関係書類 川尻村 >



< 三澤村村勢要覧 >

主な展示文書

- 牧議案第12号 廃置分合の申請について（昭和30年）
- 津久井郡與瀬町平面図（昭和11年）
- 役場の位置に関する条例（昭和10年条例第1号）
- 下津久井六箇町村合併促進協議会の開催について（昭和29年）
- 尾崎号堂生地記念館書綴（昭和29年）
- 三澤村村勢要覧（昭和26年）
- 議案第1号 廃置分合の申請について（昭和30年）

有償刊行物の紹介

公文書館では行政資料の配架・保存や販売を行っています。

「町史の窓（復刻版）」 販売価格 1,100円

旧城山町は町制施行30周年記念事業として、昭和58年度から平成8年度までの14年間にわたり「城山町史」の編集作業を行いました。

この編集期間に町の歴史の一コマを、肩のこらない読みものとし、昭和59年7月から平成9年4月にかけて、町の広報紙（「広報しろやま」及び「城山広報紙ぷりにーず（平成3年5月から）」に「町史の窓」として連載しました。この連載された「町史の窓」のうちから、143編を収録し、町制施行50周年記念（平成17年度）に復刻版としてまとめ発行しました。



「城山町史」（全7巻）

資料編4巻、通史編3巻を販売しています。各巻の販売価格は次のとおりとなっています。

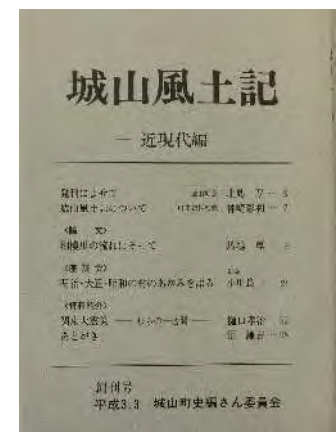


城山町史 1	資料編（考古・古代・中世）	7,000円
城山町史 2	資料編（近世）	6,000円
城山町史 3	資料編（近現代）	7,000円
城山町史 4	資料編（民俗）	5,150円
城山町史 5	通史編（原始・古代・中世）	3,500円
城山町史 6	通史編（近世）	3,500円
城山町史 7	通史編（近現代）	3,500円

「城山風土記」

城山町史（資料編）の補完となり、町史愛好家の方々に気楽に読書できるものとして、発刊しました。

城山風土記	創刊号 - 近現代編 -	600円
城山風土記	第2号 - 近世文書を読むために -	700円
城山風土記	第3号 - 九十歳の雑記帳 -	600円
城山風土記	第4号 - 歴史・民俗編 -	600円
城山風土記	第5号 - 町のあゆみをふりかえる -	600円



第4回講演会「水源地から見た相模原台地の開発と発展」

平成28年10月29日(土)午後2時から4時まで、公文書館の第4回となる講演会を開催しました。講師には、元東京情報大学教授で、現在は津久井地域でフィールドワークをおこない、水源地の問題に取り組んでおられます乾照夫氏にお願いし、「水源地から見た相模原台地の開発と発展」と題して講演をいただきました。

41名の方にご参加をいただき、参加者の方からは「生まれ育った所なので良く知りたいと思い、良い話が聞けて良かったです。」「相模原市に住み地域史に関心を持つ人間としては、今回の企画展も乾先生の講演も大変貴重な



講師の乾 照夫氏

ものであり、有意義であった。」「市内を横浜水道が横断しているながら酒匂川水系で生活していた相模原市のことがよくわかった。」「今回のテーマは今まで聞いたり、見たりしたことがない資料が多く興味深かった。」などのご意見が寄せられました。

【お知らせ(第9回企画展)】

公文書館第9回企画展「公文書から見る戦中から戦後への変化(暮らし・制度)」を平成29年7月30日(日)まで開催しています。

皆様のご来館をお待ちしています。

公文書館の今後の事業予定

第10回企画展

平成29年秋頃を予定

第11回企画展

平成30年冬頃を予定

詳しくは「広報さがみはら」などでお知らせします。

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会が平成29年11月9日(木)、10(金)に杜のホールはしもとを会場として開催される予定です。

～編集後記～

天皇の生前退位により元号が改められると、昭和はますます遠い存在になります。第8回企画展は、そんな昭和の時代に行われた津久井郡の合併をテーマに開催いたしました。来館された方から「私は千木良村で生まれ、串川村に嫁ぎました。当時はバスもなく、実家に帰るのがとても大変でした。貴重な資料を見せていただきました。」との感想をいただきました。これからも企画展などを通じ、市民の方々から親しみを持って公文書館にしていきたいと考えております。(K)

公文書館だより 第5号
編集発行 相模原市立公文書館
発行日 平成29年5月20日
〒252-5192 相模原市緑区久保沢1-3-1
城山総合事務所第2別館3階
電話 042-783-8053

